※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を創作すること」「音楽を鑑賞すること」の４つの分野について年間を通して学びます。その中で日本の音楽伝統文化（箏）も学びます。
・毎時、教科書、A4 ファイル、筆記用具、指示があった場合はリコーダーを持参してください。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートの内容、演奏実技テスト、個人やグループで取り組むアンサンブル課題やレポートにより評価します。
・授業では、個人の活動に加えてアンサンブルによる活動も重要視し、音楽の学習を通して協調性を育み、音を通して人と繋がることから得られるものや共に音楽をつくりあげる喜びを大切にしながら学習してほしいと考えています。

2　学習の到達目標

芸術の幅広い活動を通して、音楽における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 知識 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動　　＊題材は生徒の実態に合わせて変更する場合があります。

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	曲想を感じて表現を工夫しよう	【歌唱】 ◇日本語の響きを大切に歌ってみよう！ ・糸 ・からたちの花 ◇ベルカント唱法やいろんな国の歌を歌って声を発展させよう！！ ・野ばら ・世界の歌	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、重唱による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 c: 楽曲の背景に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 演奏聴取	ワークシート 演奏聴取	観察 演奏録画 演奏聴取
	創作にチャレンジしよう	【創作】 ◇リズム、コード等さまざまな音楽的要素を使ってオリジナルの楽曲を創作しよう！	a:【知】音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構造上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な反復、変化、対照などの手法を活用して音楽を作る技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。 c: 自己のイメージを音で表現する過程や手法に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 演奏聴取	ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取

※令和４年度以降入学生用

	ギターの様々な奏法を学ぼう	【器楽】ギター ◇弾き語りにチャレンジ！ ・Stand By Me など 【アンサンブル演奏】 ◇ペアで演奏してみよう！ ・Stand By Me など	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 c: ギターの音色、奏法や表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 演奏聴取	ワークシート 演奏聴取	観察 演奏聴取
後期	外国語の響きやハーモニーを感じて歌おう	【歌唱】 ◇外国語の響きを感じて歌ってみよう！ ・雨にぬれても 【2 重唱】 ・ホールニューワールド ・メリーウィドゥより唇は黙しても 【合唱】 ◇合唱でハーモニーを感じよう！ ・Shall we dance?	a: 【知①】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【知②】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技①】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 【技②】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 c: 外国語の楽曲や様々な演奏形態に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 朗読録画 ワークシート 演奏聴取 演奏聴取	ワークシート 演奏聴取	観察 演奏聴取

※令和４年度以降入学生用

	日本の伝統音楽や世界の音楽について演奏や鑑賞を通して学ぼう	【器楽】箏 ◇和楽器演奏に挑戦しよう！ ・六段の調べを全員でリレー演奏して完成させよう！ 【鑑賞】 ◇世界の様々な音楽を鑑賞しよう！ ・Jazz ・クラシックの名曲	a:【知①】曲想と楽器の音色や奏法との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【知②】日本の伝統音楽や世界の様々な音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:【思判表①】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫している。 【思判表②】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:　日本や世界の様々な音楽及び楽器の音色、奏法や表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 演奏聴取	ワークシート 演奏聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	アンサンブル	【合奏】 アンサンブルに挑戦しよう ・各グループで編成を考えて自由曲を演奏しよう！	a:【知】曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、イメージをもってどのように表すかについて表現意図をもっている。 c:創意工夫を生かしたアンサンブルに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏聴取	ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度